



山車祭りを活用して 半田市の出生率アップを目指しましょう！

神野ゼミ A班

鷲尾愛菜 清水愛理 近村優来 新美乃英



半田市
Handa City

目次

- 半田市の紹介
- 現状分析
- ロジックツリー
- 仮説の検定
- 政策立案
- まとめ

半田市とは？

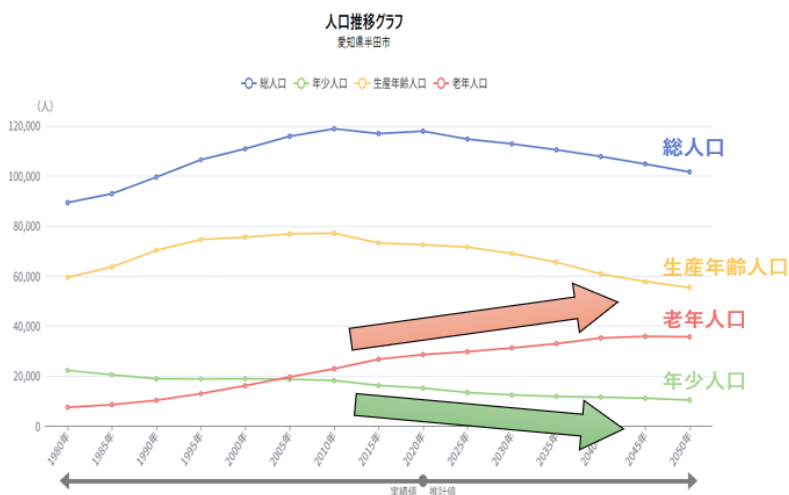
人口は115,733人（2025年6月現在）

愛知県の知多半島に位置し名古屋から車で30分ほどの距離
古くから海運業・醸造業で栄え、知多半島の経済・政治の
中心都市として発展

「山車・蔵・南吉・赤レンガ」などの歴史的な構築物を生
かした観光スポットやイベントも盛んであり、知多半島の
文化の中心でもある。

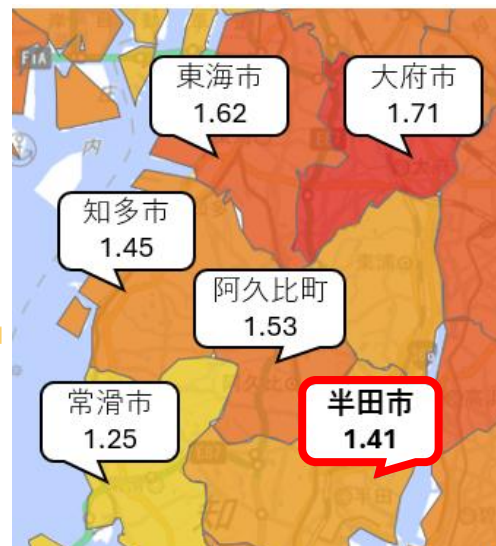


①人口推移



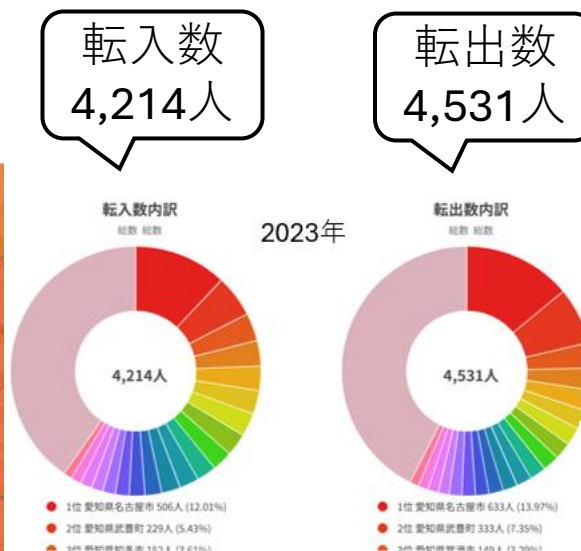
老年人口の上昇
年少人口の減少

②合計特殊出生率

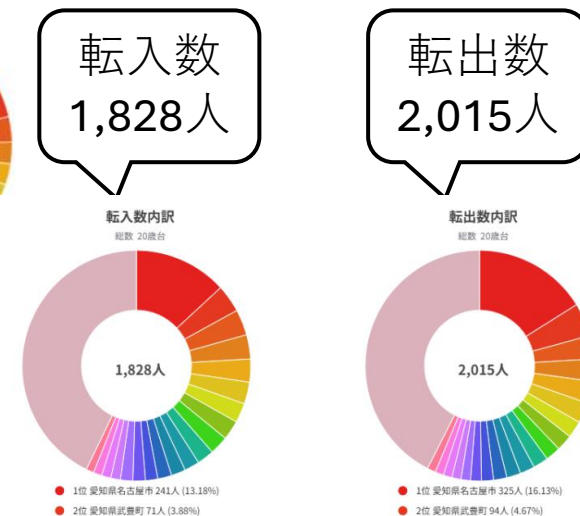


合計特殊出生率は1.41であり、周りの市に
比べ少し低い
転入数と転出数を見ると、転出数の方が多い

③転入、転出者数

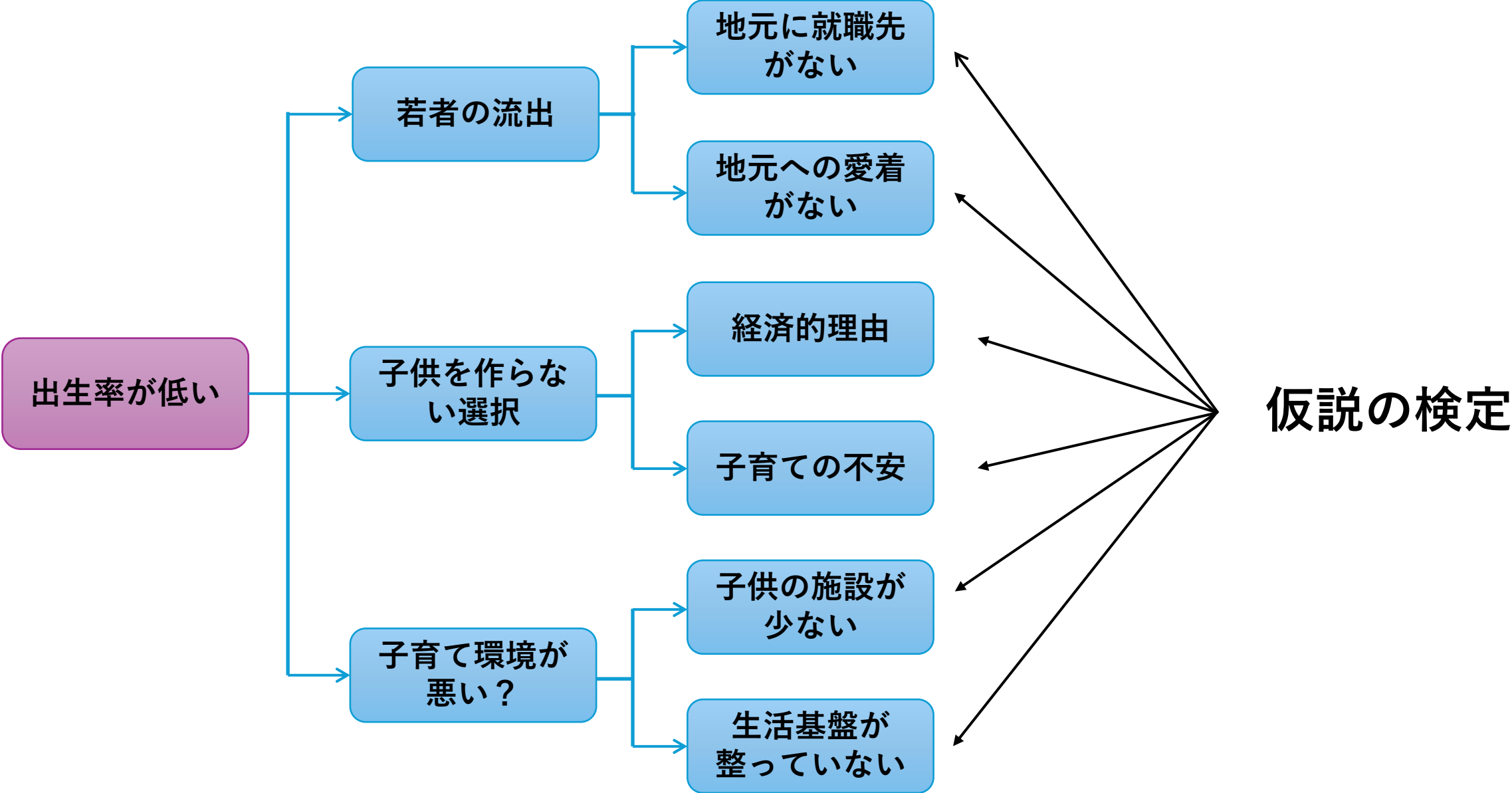


④転入、転出者数 20歳台



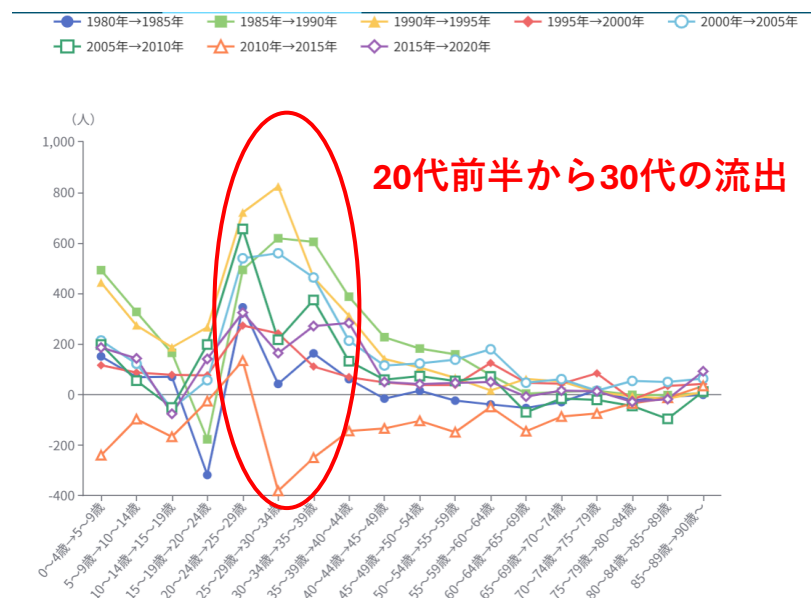
若者の流出

ロジックツリー



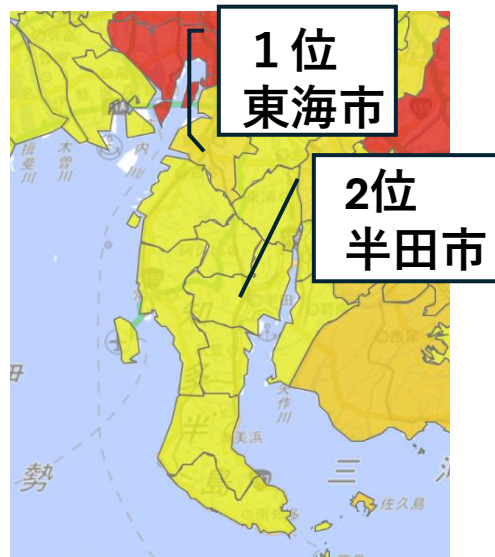
若者の流出の要因は？

①半田市の年齢別移動数



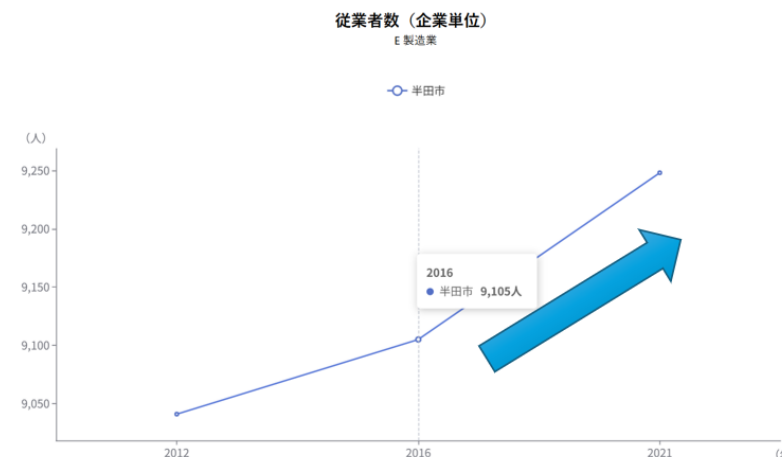
進学や就職とは関係ない時期
での人口流出

②知多半島の産業生産額 ヒートマップ



産業の規模から見ても
就職先は多く存在

③半田市の従業員数 (企業単位)

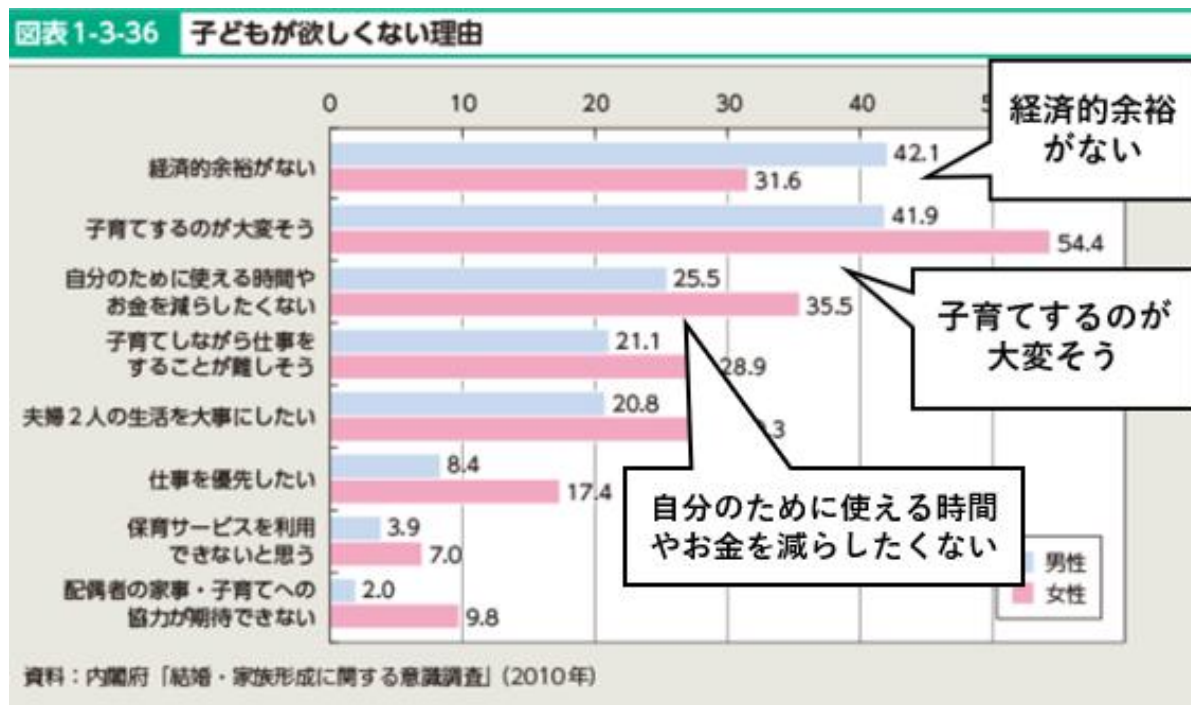


2012年から2021年と増加傾向

「地元での就職が困難だから」ではなく結婚や出産を機に
半田市を出ていく人が多い？

子どもをつくらない選択？

①男女別 子供が欲しくない理由



男性

- (1)経済的余裕がない
- (2)子育てするのが大変そう
- (3)自分のために使える時間やお金を減らしたくない

女性

- (1)子育てするのが大変そう
- (2)自分のために使える時間やお金を減らしたくない
- (3)経済的余裕がない

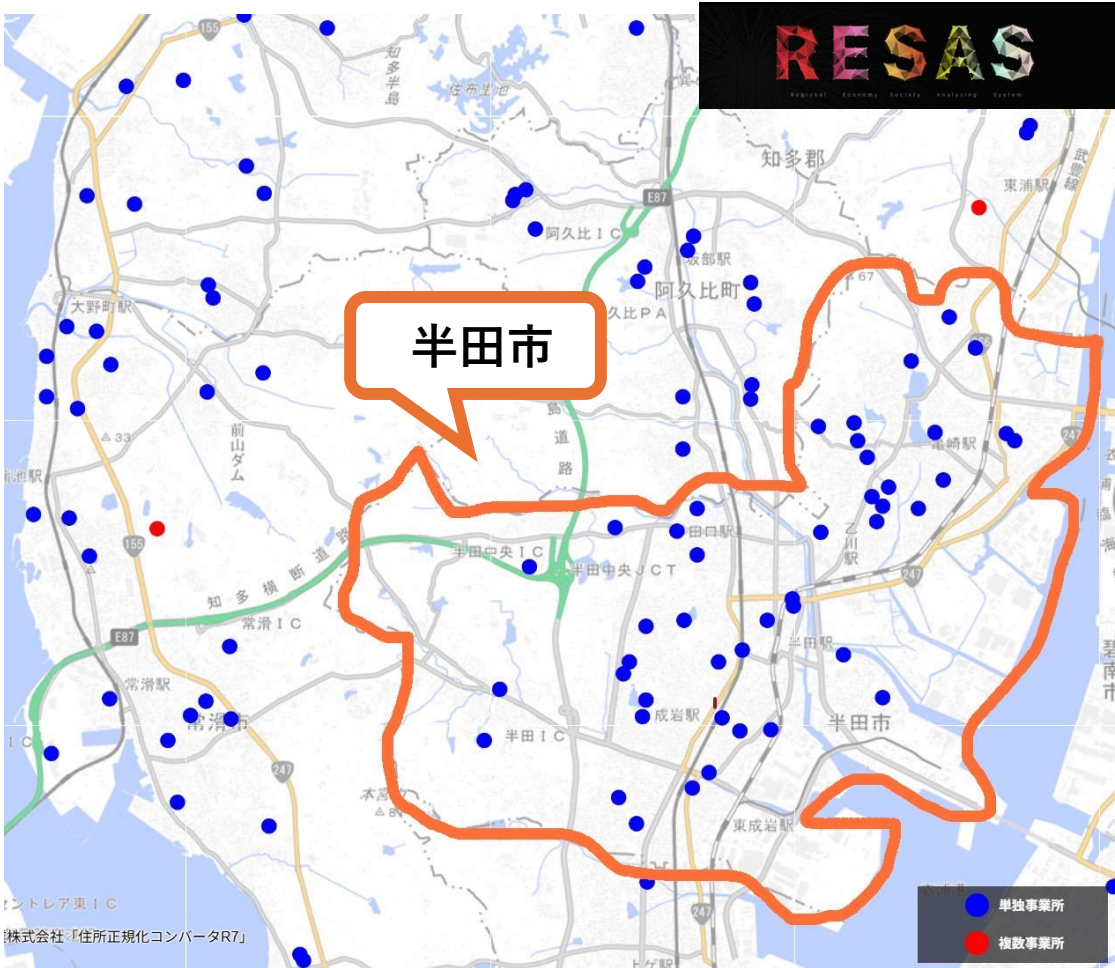
半田市に限らず、全国的に子供をつくらない選択をする人が増加している

子育て環境が悪い？

市区名	瀬戸市	半田市	刈谷市
人口	約125,482人 (2025年4月調査)	115,733人 (2025年6月現在)	約152,844人 (2025年4月調査)
幼稚園・保育園			
公立保育所数	12ヶ所	12ヶ所	10ヶ所
0歳児保育を実施している公立保育所	4ヶ所	5ヶ所	10ヶ所
公立保育所定員数	1300人	2039人	1466人
公立保育所在籍児童数	994人	1385人	1205人
私立保育所数	14ヶ所	5ヶ所	11ヶ所
0歳児保育を実施している私立保育所	11ヶ所	4ヶ所	11ヶ所
私立保育所定員数	1160人	663人	1197人
私立保育所在籍児童数	929人	574人	1143人
保育所入所待機児童数	7人	0人	10人

<https://house.goo.ne.jp/chiiki/kurashi/hikaku.html?c1=23204&c2=23205&c3=23210>

- ・ 保育所定員に対して在籍児童数に余裕がある
- ・ 待機児童数は0



小学校・保育園・幼稚園・学童保育・認定こども園

施設（保育園・幼稚園・学童保育・認定こども園・小学校など）は十分

子育て環境が悪い？

**はんだの
住みやすさ**

5つの特徴

“何でもそろろ”住みやすさ、
定住地としての暮らしやすさ
があります。

01
通勤が便利なまち

名古屋まで
電車で
約30分



02
教育環境が充実したまち

通園施設	34園
小学校	13校
中学校	6校
県立高校	5校



03
生活に便利なまち

知多地域NO.1
飲食店数
614店舗



知多地域NO.1
小売店舗数
694店舗



04
親子で楽しむ憩いの場

遊具いっぱい
「びよログスポーツパーク」
屋内温水プールも大にぎわい

知多地域NO.1
公園数132か所



05
おでかけに便利なまち

中部国際空港まで
自動車です約15分

三河方面へのアクセス
海底トンネル・衣浦大橋



SUPER MARKET



スーパー、飲食店、公園、
病院の数は知多半島でTOP



通勤が便利なまち
名古屋まで
電車で
30分



子どもの未来を応援するまち
通園施設 32園
小中学校数 18校
県立高校数 5校



家計にうれしいまち
知多地域No.1
水道代
最安値



グルメを楽しむまち
知多地域No.1
飲食店数
614店舗



遊びのまち
知多地域No.1
公園数
132箇所



空に近いまち
中部国際
空港まで
15分



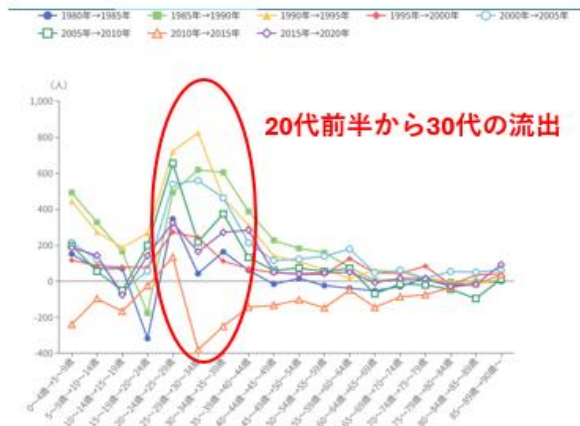
生活に便利なまち
知多地域No.1
小売店舗数
694店舗



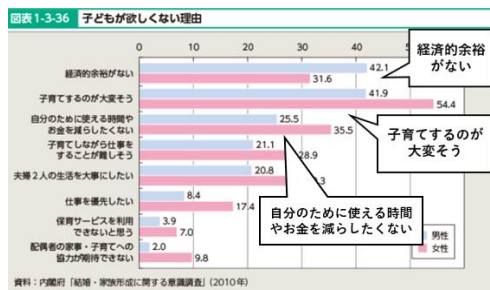


スーパーや公園などの生活基盤は整っている

仮説の検定 まとめ

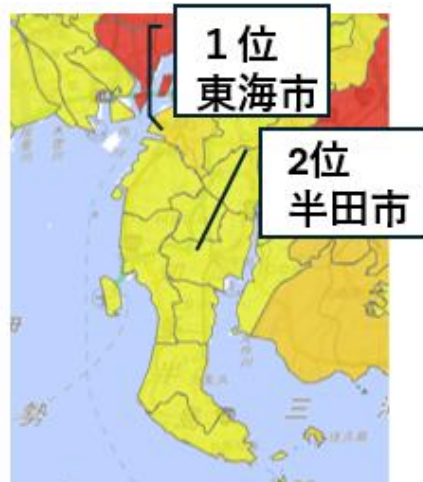


①どの年も20代前半から30代の流出が見られる



③「経済的余裕がない」
「子育てするのが大変そう」

「自分のために使える時間やお金を減らしたくない」
様々な理由から子供が欲しくないと思う人が増加している



②ヒートマップから産業の規模が
知多半島で2位



④生活基盤は整っていて子育て施設もある

若者の流出の要因は？

「地元での就職が困難だから」ではなく結婚や出産を機に半田市を出ていく人が多い？

子どもをつくらない選択？

半田市に限らず、全国的に子供をつくらない選択をする人が増加している

子育て環境が悪い？

施設や生活基盤は整っているから子育て環境が特別悪いわけではない



観光（山車祭り）と子供が関係している政策
地域の祭りが魅力的なら、そこで暮らす愛着が湧く要素になる。若い世代が定着しやすくなるのではない
か。住宅や子育て環境を整える土壌づくりとなる。

Rを使ったデータの分析

（ 説明変数：可処分所得（income）、転入者数（number_enter）、
転出者数（number_exit）事業所数（number_offices）、
教育費（education_cost）、社会教育費（social_education）
被説明変数：定住人口population

記述統計量	サンプル数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
可処分所得	141	450,031	69,237	326,592	598,305
人口	141	2,705	2,706	570	13,624
転入数	141	48,483	68,720	8,435	413,444
転出数	141	48,483	60,984	9,305	377,482
事業所数	141	121,926	127,093	25,390	802,355
学校教育費	141	11,002	3,526	4,539	25,131
社会教育費	141	33,352,580	25,655,926	8,358,777	170,555,128

※小数点以下四捨五入

Rを使ったデータの分析

説明変数：可処分所得（income）、転入者数（number_enter）、
転出者数（number_exit）事業所数（number_offices）、
教育費（education_cost）、社会教育費（social_education）
被説明変数：定住人口（population）

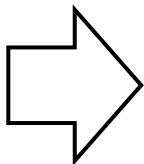
〈各変数の係数〉
可処分所得 = 1.1895e-04
転入数 = 7.6165e-03
転出数 = 4.6218e-03
事業所数 = 1.3786e-03
学校教育費 = 6.8629e-04
社会教育費 = 3.9888e-06

転入数が0.1%水準で有意
転出数が1%水準で有意
事業所数が1%水準で有意
社会教育費が0.1%水準で有意

	(1)
income	0.000 (0.000)
number_enter	0.008*** (0.001)
number_exit	0.005** (0.001)
number_offices	0.001** (0.000)
education_cost	0.001 (0.001)
social_education	0.000*** (0.000)
Num.Obs.	141
R2	0.539
R2 Adj.	0.267
AIC	1293.3
BIC	1314.0
RMSE	22.60

+ p < 0.1, * p < 0.05, ** p < 0.01, *** p < 0.001

定住人口 増加 = 愛着度が増加している



事業所数を増加させる、教育を充実させる。

政策立案 ~Rを用いた分析から~

地元に住み続けたいくなるような愛着を
持ってもらえる政策が必要！
⇒市のことをもっと知ってもらう機会

半田市の象徴

山車祭り

出生率低下の改善

子育て支援



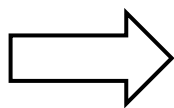
はんだ山車祭り

昭和54年から続く愛知県最大級の祭り、
5年に一度開催される。
31台の山車が10地区から一堂に勢揃いし
大競演を繰り広げる。
毎年、約50万人の来場者。



<課題・改善の余地>

- ・高齢化による山車の管理や準備をする人の減少。
若い世代の参加者の減少。
- ・山車の維持や修繕費が高額であり、寄付や協賛への依存度が高い。
- ・はんだ山車祭りは観光客が多く混雑しやすい。

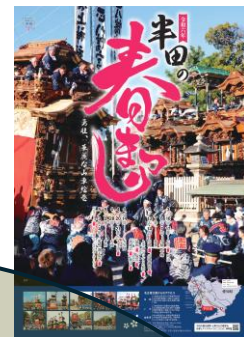


地域内よりも地域内外の人と
の交流の場になっている？

半田市ホームページより <https://www.city.handa.lg.jp/handa-life/living/1005008.html>

半田の春祭り

毎年半田市内各地で行われる祭り
各地区ごとに山車を出して行われる。
日程は地区ごとで異なり一斉に集ま
ることはない。
観光よりも地域住民主体。



半田市は古くからお祭りが盛ん
→山車祭りを通じて、地元に住み続
けたくくなるような愛着を持っても
らうきっかけになるのでは？
若者世代を巻き込んだ伝統業への
継続的な取り組みが必要？

半田市の子育て支援の現状

→半田市役所 子ども育成課の方にお話を伺いました

子育て支援の現状

- ・半田市では子供の預かり場として、主に児童館・児童クラブが活躍している
- ・年々児童館・児童クラブの数は増加しており市営・民営合わせると全ての小学校区に1つ以上の児童館・児童クラブが置かれている
- ・児童館では定期的にモノづくりや体を動かすイベントが行われている



子育て支援の課題

- ・夏休みから冬休みに受け入れを始める児童館も増加しているが、働く人不足に悩まされている
- ・半田市の取り組みについての市民の認知度が低く、市民にうまく活用されていない
 - SNSはLINEのみでの発信
- ・民営の児童館に比べて市営の児童館はイベントが少ない

半田市の山車祭りの現状

→半田市役所 観光課の方にお話を伺いました



山車祭りと子供の関わりの現状

- ・市内の小学校の提灯を配布し提灯絵付けの体験を
してもらう取り組みを観光課で行っている
- ・子供達でも引けるような小さな山車の設置や展示
- ・山車祭のボランティアとして高校生が活躍



山車祭りの課題

- ・半田の山車祭りは5年に一度の開催なので、
継続性が保ちにくい
 - ・伝統に固執するあまり様々な制約
(女性が山車に触れない・ある地域では血筋による制約など)
があり、老若男女問わず扱うことが現状では難しい
- 伝統を守りつつも新しい風を吹き込むことが重要

政策立案



半田市の象徴

出生率低下の改善

山車祭り



子育て支援



観光（山車祭り）と子供 が関係している政策

- ・地域の祭りが魅力的なら、そこで暮らす意欲が湧き、若い世代が定着しやすくなる。住宅や子育て環境を整える土壌づくりとなる

	〈半田市の現状〉 半田市	〈〇〇市の現状〉 〇〇市
人口	115,733人	110,000~120,000人
面積	47.42平方km	40~50平方km
地域経済循環率	114.6%	110.0~150.0%
山車祭り開催の有無	有	有

政策の実現性を高めるために、
半田市の現状と近い現状にある市を調査

↓

人口、面積、地域経済循環率、山車祭り開催の有無
の観点から調査

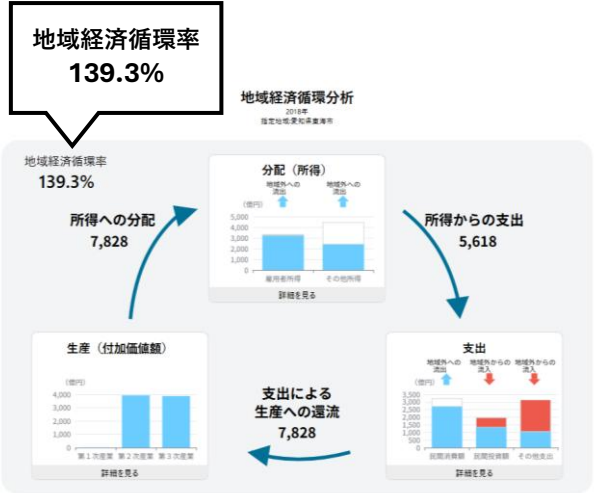
↓

半田市よりも出生率が高く、
山車祭りを開催している市はどこか？

半田市よりも出生率が高く、山車祭りを開催している市は？



	半田市	東海市
人口	115,733人	113,324人
面積	47.42平方km	43.4平方km
地域経済循環率	114.6%	139.3%
山車祭り開催の有無	有	有

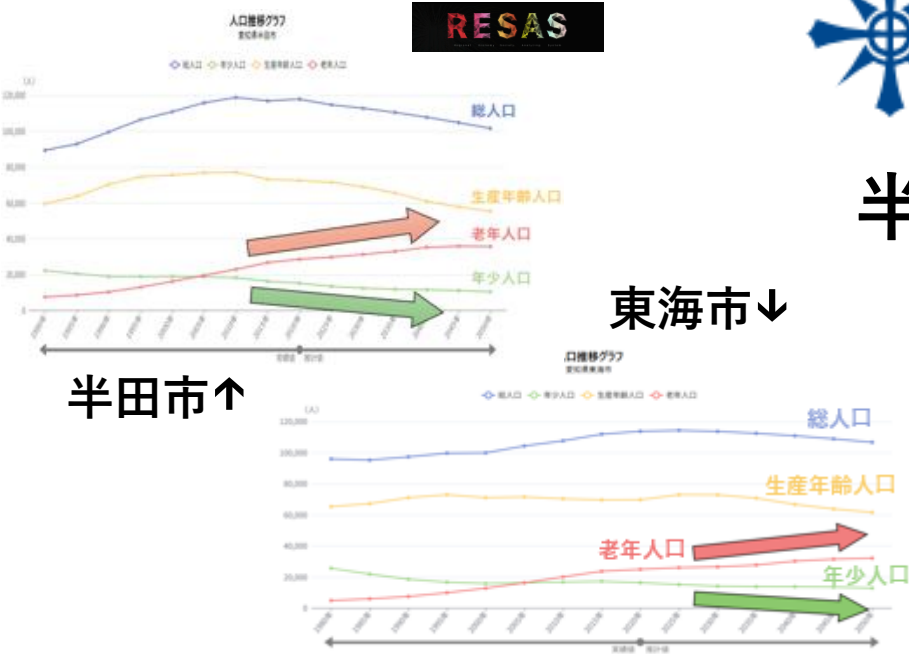
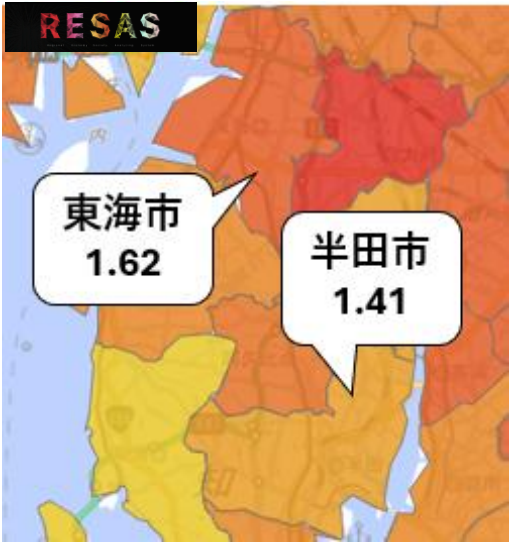


出典：RESASを使用 <https://resas.ho.jp>
半田市ホームページより <https://www.city.handa.lg.jp/handa-life/living/1005008.html>
東海市公式ウェブサイトより <https://www.city.tokai.aichi.jp>

半田市と東海市 比較



半田市と東海市を比較すると...



	半田市	東海市
人口	115,733人	113,324人
人口推移	老年人口の上昇 年少人口の減少	
合計特殊出生率	1.41	1.62
転入者数(20歳代)	1,828人	1,992人
転出者数(20歳代)	2,015人	1,995人

半田市

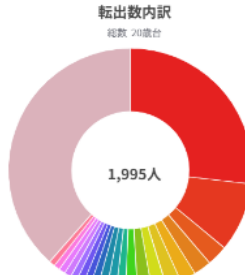
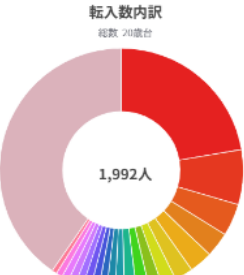
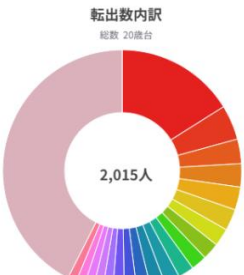
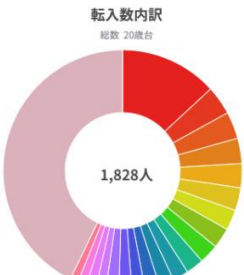
東海市

転入数
1,828人

転出数
2,015人

転入数
1,992人

転出数
1,995人



東海市は半田市に比べ、人口が少ないが転入転出者数の差が小さいが、大差はない

半田市と東海市 比較



・はんだ山車祭り
昭和54年から続く愛知県最大級の祭り、**5年に一度開催**される。
31台の山車が10地区から一堂に
勢ぞろし大競演を繰り広げる。
毎年、**約50万人の来場者**。



半田市ホームページより
<https://tinyurl.com/bdevsuw4>

・半田の春祭り

毎年半田市内各地で行われる祭り
各地区ごとに山車を出して行われる。日程は
地区ごとで異なり一斉に集まることはない。
観光よりも**地域住民主体**。

<課題・改善の余地>

- ・高齢化による山車の管理や準備をする人の減少。
若い世代の参加者の減少。
- ・山車の維持や修繕費が高額であり、寄付や協賛への依存度が高い。
- ・**はんだ山車祭りは観光客が多く混雑しやすい。**



規模の大きさから、地域外の人への観光物になっているのでは？（仮説）

山車祭りの取り組み



・大田まつり
毎年10月の第1日曜日とその前日に開催
大田町の「大宮神社」の例祭として行われる。
重さ約5トンもある大きな山車4台がお囃子とともに、
町内を練り歩く壮大な祭り
小学生のお囃子発表会などが行われる



・尾張横須賀まつり

毎年9月の第4土曜日と日曜日に開催
横須賀町の「愛宕神社」の例祭として行われる。
重さ約5トンもある大きな山車が町内を曳き回される祭り
横須賀小学校山車蔵見学会を開催



大田まつりホームページより <https://otamatsuri.com>
尾張横須賀まつりホームページより <https://www.yokosukamatsuri.com>



- ・「町内を練り歩く」「町内を曳き回される」→観光客よりも**地元の人々**を主とした祭り
- ・**小学生を対象に**祭りの発表会や見学会が開催される

地元に**愛着**を持ってもらうきっかけになっているのでは？（仮説）

半田市と東海市 比較 まとめ

①概要の比較

	半田市	東海市
人口	115,733人 多	113,324人
人口推移	老年人口の上昇 年少人口の減少	
合計特殊出生率	1.41	1.62 多
転入者数(20歳代)	1,828人 ↑ +187	1,992人 ↑ +3 多
転出者数(20歳代)	2,015人	1,995人 多

②山車祭りでの比較

	半田市	東海市
山車祭り	はんだ山車祭り 半田の春祭り	大田まつり 尾張横須賀まつり
対象者	観光客	地元の人々
山車祭り×子供	???	小学生のお囃子発表会 横須賀小学校山車蔵見学会

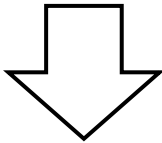


①概要の比較 より

半田市と東海市では大きな差はない
→出生率の低さという問題を解決するうえで、
参考になる市である

②山車祭りでの比較より

東海市の祭りは対象者が地元の人々であり、
地域密着型で祭りが行われている
→地元へ愛着を持ちやすい



それを活かして、半田市の山車
祭りで地元の人々に対してアク
ションを起こすことで出生率の
低下を改善できるのではないか

政策立案

半田市の象徴

山車祭り



出生率低下の改善

子育て支援

観光（山車祭り）と子供が関係している政策

- ・地域の祭りが魅力的なら、そこで暮らす意欲が湧き、若い世代が定着しやすくなる。住宅や子育て環境を整える土壌づくりとなる



「子供山車職人体験」

- ・小中学生を対象に山車の「修復・装飾」を体験するワークショップを夏休みに開催。

【目的】

- ・ **見学でなく体験する**ことで、地域の伝統行事を自分の地元の誇りだということを体感させることで、将来戻る動機を作る
- ・ 夏休みを狙って遊び場を提供することで、**親の育児の負担を減らす**。
- ・ 親同士の憩いの場として設定すれば、日ごろの悩みを相談できる場となる。

「子育て世代特典・ 山車文化パスポート」

子育て世代に山車祭り関連イベントの優先席への招待券や、山車文化講座無料チケットの進呈。子供が成長する一定の期間までの間の配布。

【目的】

- ・ 伝統と**一緒に成長する環境**づくり。
- ・ 混雑する祭りでも、**子育て世代が安心して文化**に触れられる環境を整える。

なぜ出生率が低いのか？

仮説

若者の流出・・・・・・・・・・出産や結婚時期に特に流出傾向
子供を作らない選択・・・・・・・・半田市の問題よりも全国的な傾向が強く影響
子育て環境が悪い・・・・・・・・生活に必要な施設（生活基盤）は整っている

結果



ターゲット：子育て世代
子供が触れ合える観光地・行事



半田市の象徴である
山車祭りを活用！！



<政策提案>

「子供山車職人体験」



↳小中学生を対象に山車の「修復・装飾」
を体験するワークショップを夏休みに開催。

「子育て世代特典・山車文化パスポート」

↳子育て世代に山車祭り関連イベントの優先席への
招待券や、山車文化講座無料チケットの進呈。子
供が成長する一定の期間までの間の配布。



<ねらい>

- ・夏休みを狙って子供の遊び場を作り、**親の負担を減らす**と共に、親同士の憩いの場とする
- ・子供が小さいころから「山車祭り」の文化に触れる環境を作り、**地元の愛着度**を高める
- ・山車祭りを利用した特典を提供し、半田市で子育てを作りたくなるような環境づくり



山車祭りを活用して 半田市の出生率アップを目指しましょう！

見ていただき、ありがとうございました。